

議会 ながいずみ



9月定例会

新体制が決まりました……………	2
26年度決算……………	4
ズバリ！町政を問う	
9人が一般質問……………	12
まちかどインタビュー……………	24

一致団結
～長泉幼稚園運動会～



QRコード

2015.11.1
No.176

が 決 ま り ま し た

9月定例会では、議会人事の改選が行われ、新議長に柏木豊議員、新副議長に山田勝議員が選出されました。また、常任委員会と議会運営委員会の委員の改選も行われ、さらに、議会の活性化、議員資質の向上、議会機能の強化を目指し、議会改革特別委員会を設置しました。

副議長という大任を拝し、その重責に身の引きしまる思いです。価値観が多様化する中で、住民一人ひとりの声に、どのように応えていくか常に考えて活動してまいります。



副議長
山田 勝

化はもとより、町のますますの繁栄と発展のために微力ではありますが、誠心誠意努力を重ねてまいります。

皆さまのご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

このたびの議長就任に際し役割の重さを痛感しています。私は、住民と一体になった開かれた議会運営を目指します。そのため、議会広報広聴活動が大変重要と考えております。今、町が策定を進めている第4次総合計画の後期基本計画と、まち・



議長
柏木 豊

ひと・しごと創生総合戦略の具体的事業が明示されます。今後、これらの施策をどのように実施していくかが重要です。そこで、議会は提言と監視を確実に果たし、町民のさまざまな声が的確に町政に反映されるよう、取り組んでまいります。

総務民生委員会

行政課、企画財政課、地域防災課、福祉保険課、健康増進課、住民窓口課、税務課、長寿介護課、会計課、消防、監査などに関することを担当します。



委員
井出 春彦



委員
四方 義男



副委員長
大沼 正明



委員長
下山 和則



委員
杉森 賢二



委員
柏木 豊



委員
藤村 郁人



委員
植松 英樹

議 会 の 新 体 制

建設文教委員会

建設計画課、工事管理課、産業振興課、くらし環境課、上下水道課、農業委員会、こども育成課、生涯学習課、学校給食センターなどに関することを担当します。



委 員
溝口 伊佐雄



委 員
土屋 誠



副委員長
栗原 睦明



委員長
宮口 嘉隆



委 員
小永井 康一



委 員
下山 哲夫



委 員
山田 勝

広報広聴委員会

議会だよりの編集・発行、報告会の開催・運営など議会の広報広聴に関することを担当します。



委 員
植松 英樹



委 員
山田 勝



副委員長
杉森 賢二



委員長
栗原 睦明



委 員
小永井 康一



委 員
大沼 正明



委 員
下山 哲夫



委 員
藤村 郁人

議会改革特別委員会

議会の活性化を推進し、開かれた議会を実現することを目的に設置しました。

委 員 長 藤村 郁人

副委員長 下山 哲夫

土屋 誠	四方 義男	溝口 伊佐雄
山田 勝	宮口 嘉隆	井出 春彦
植松 英樹	柏木 豊	下山 和則
栗原 睦明	大沼 正明	小永井 康一
杉森 賢二		

議会運営委員

議会運営に関する事項、特別委員会の設置や議員協議会の取り扱い、議会費予算、議会の諸規定などを審議します。

委 員 長 井出 春彦

副委員長 栗原 睦明

委 員 土屋 誠

委 員 溝口 伊佐雄

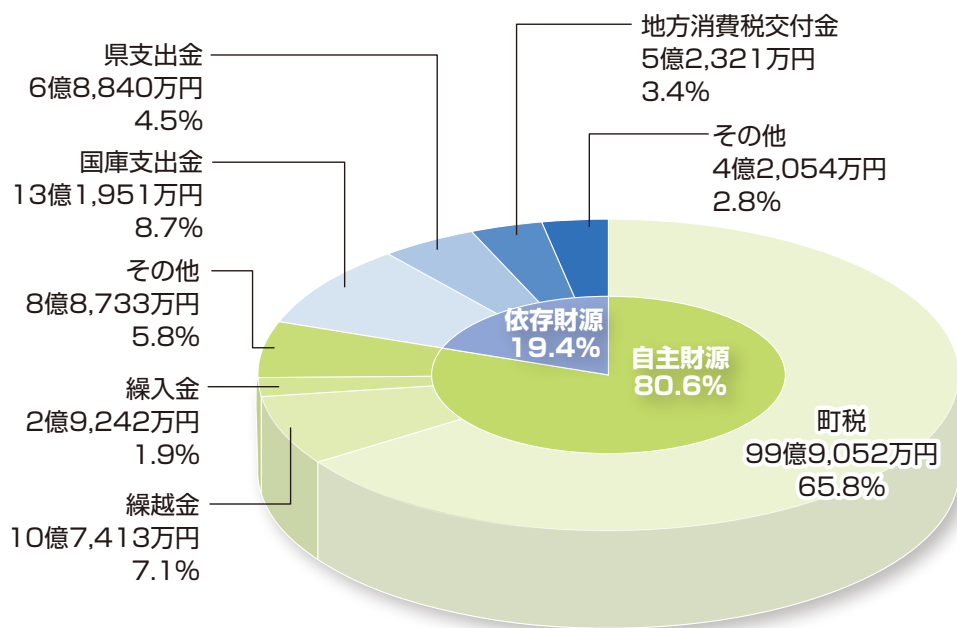
委 員 山田 勝

委 員 植松 英樹

健全財政を維持 税収を確保

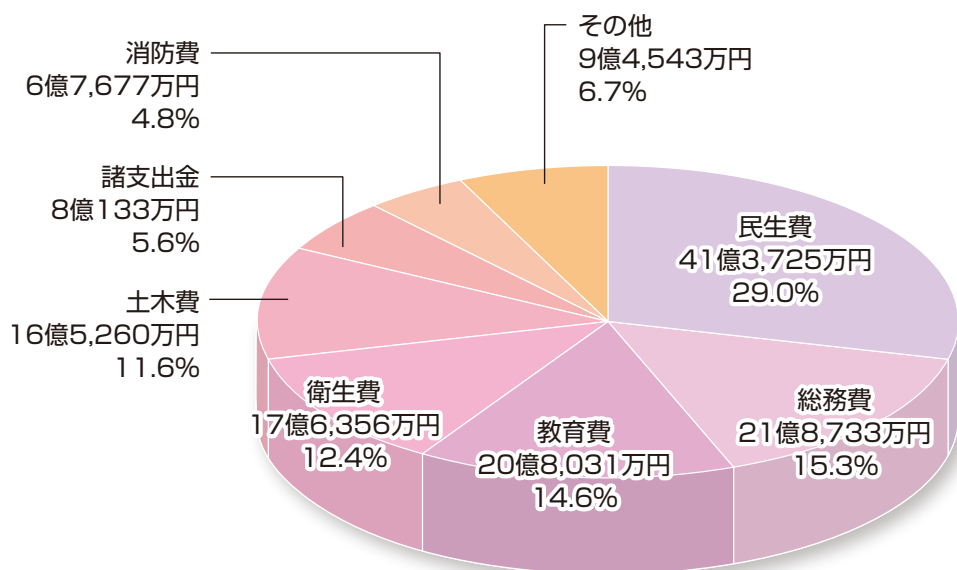
9月
定例会

一般会計 歳入 151 億 9,609 万円



9月定例会は、8月31日から9月18日までの19日間の会期で開かれました。26年度の各会計の決算認定をはじめ、27年度補正予算、条例の一部改正など22議案が提出され、議案は、各常任委員会などで審議し、原案のとおり全員賛成で可決しました。そのほか、陳情3件を審議しました。

一般会計 歳出 142 億 4,462 万円



※ 1万円未満は切り捨ててあるため合計金額とは一致しません。

26年度決算を認定

過去最大規模の

26年度決算会計別決算額

1万円未満は切り捨ててあるため差引額とは一致しません。

会 計 名	歳 入	歳 出	差 引 額
一 般 会 計	151億9,609万円	142億4,462万円	9億5,147万円
国民健康保険事業	40億2,501万円	38億5,585万円	1億6,915万円
後期高齢者医療	6億4,903万円	6億3,989万円	913万円
介護保険事業	24億3,810万円	23億1,901万円	1億1,909万円
下水道事業	8億7,966万円	7億9,719万円	8,246万円
土地取得事業	65万円	65万円	0円

地方公営企業会計	収 入(税込)	支 出(税込)	差 引 額
水道収益的(運営面)	5億 1,155万円	4億 664万円	1億 491万円
水道資本的(設備面)	2億2,307万円	5億 1,437万円	※△2億9,130万円

※△2億9,130万円は、損益勘定留保資金などで補てんした。

一般会計おもなつかいみち

衛生費

- ・焼却場管理費
3億9,499万円
- ・PFI最終処分場運営管理費
1億9,421万円
- ・上水道整備費
1億7,170万円

教育費

- ・学校給食調理・配食費
2億8,950万円
- ・小学校施設整備費
2億 89万円
- ・竹原グラウンド施設整備事業費
1億2,287万円

総務費

- ・財政調整基金積立費
6億9,403万円
- ・役場庁舎管理費
2億8,947万円
- ・情報管理費
1億 945万円
- ・防災資機材等整備費
8,446万円

民生費

- ・児童手当給付費
8億6,452万円
- ・民間保育所支援費
6億 356万円
- ・障害者自立支援費
5億 212万円
- ・こども医療費給付費
2億4,075万円

消防費

- ・消防救急広域化整備事業費
9,644万円
- ・警防活動費
5,410万円
- ・消防庁舎管理費
3,814万円

土木費

- ・生活道路等整備費
3億9,137万円
- ・広場整備費
1億5,651万円
- ・道路維持補修費
1億 272万円

その他

- ・(諸支出金)公共施設長寿命化基金積立事業費
8億 133万円
- ・(商工費)観光推進費
4,405万円
- ・(商工費)商工振興推進費
3,542万円

26年度 決算質疑

総務民生委員会

一般会計

財政調整基金と町債

問 26年度末の残高は。

企画財政課長 26年度末の財政調整基金残高は、47億8千632万円、一般会計の町債残高は39億1千844万円である。

ルミナス

ストリート事業

問 ルミナスストリート

事業の電気料を東京電力に一括前払することに

よる割引額は。
地域防災課長 年一括前払することで年間約60万円の割引となる。



原分地先

静岡新聞データベースシステム

問 年間利用料および活用方法は。

行政課長 静岡新聞データベースシステムの昨年度の経費は、1ライセンスの申込みで36万5千円であった。同システムは、静岡新聞と日経新聞に掲載された情報を閲覧することができ、各種行政施策の調査や情報収集などに活用している。

税収の増加

問 税収が前年度と比べ増えている理由は。

税務課長 町民税の増加理由は、法人町民税が主なもので、不動産の売買による現金資産が拡大したこと、電子申告による申告時期の影響によること、経済、金融情勢、為替レートおよび原油価格の状況が好転したことなどによる。



救急活動状況

問 新東名高速道路の出场件数は。

消防長 26年度中は、29件である。

見守り ネットワーク事業

問 事業はどのような事業者が協力しているのかまた、この事業の町としての評価は。

長寿介護課長 協力事業所の内訳は、新聞配達店4件、牛乳配達店1件、小売店1件である。また、協力事業所からの安否情報により、支援を必要としている高齢者の早期発見に結びつき、高齢者が安心して生活できる地域づくりにつながっていると考えている。

跡地利用

問 旧保健センター跡地利活用検討に伴う基礎資料策定の内容は。

企画財政課長 解体後の跡地とその周辺を対象とし、池田柵線側道整備に伴い縮小される福祉会館駐車場の配置なども考慮した中で、利活用の方向性を整理し、今後の整備として展望テラスを中心とした高齢者などの交流と、にぎわいづくりを創出する活用案を策定した。



展望テラス整備予定の旧保健センター跡地

特別会計

臨時福祉給付金

問 給付事業での不用額の理由は。

福祉保険課長 当初予算の編成にあたり、対象者を国の算定式に基づき1万2千457人とし、郵送料や口座振込手数料を見込んだが、申請が4千26人であり、不用額が生じた。

問 支給率が72・4%となった見解は。

課長 非課税者が対象であり、対象者の把握が困難なことから、町広報誌などによる周知をはかってきた。申請件数が伸びないため、税務課と連携し非課税通知の発送に合わせ給付金の制度案内をすることで申請を促した結果、申請率は上がったが、申請を辞退する方などもおり、72・4%となったが、申請率は他市町並みと認識している。

肺炎球菌ワクチン

問 成人の任意接種の定期化と任意接種の要綱を改正した成果は。

健康増進課長 26年10月から定期接種となったことに伴い、対象者に個別通知を送付することで、前年比3.7倍となった。また、定期化に伴い、任意接種の要綱を改正し、対象者を70歳以上から定期接種の対象者と同じ65歳以上に変更したことに加え、自己負担額を3千900円から2千円に変更したことも増加の要因と捉えている。

母子保健事業

問 健康相談で、子どもの育ちの相談会の相談件数が前年比1.5倍に増えているとのことだが、どのような取り組みによるものか。

健康増進課長 相談回数を増やしたことに加え、健診時に、町独自のスクリーニングを行い、幼児の発達や発育の様子を的確に把握できていることが相談件数の増加につながっている。



家族の健康を

国民健康保険

問 滞納分の収納額の主な減少理由と滞納分の収納率を上げるための取り組みは。

税務課長 主な減少理由は、高額滞納分を静岡地方税滞納整理機構へ収納を移管しているが、国民健康保険税で前年より300万円ほど収納額が減っているなど差押えの率が下がり、合わせて550万円の減となっている。今後の取り組みとしては、現年分は早い段階で督促、催告などを行い、滞納分へ移行しないように努めていく。

問 レセプト点検を臨時職員から国民健康保険団体連合会委託へ切り替えているが、成果は。

福祉保険課長 システムを使った点検を行うことで、広範囲での点検ができており、経費も、従前より安価で委託契約するなどの点で成果が見られる。

後期高齢者医療

問 被保険者の健診受診率が低い理由は。また、町としての対策は。

福祉保険課長 既に通院し主治医の指示を受けている者がいることが、低調な理由と考えられる。国民健康保険加入時と同じ健診項目とするため、町独自の検査項目を設けることで、受診率を上げる取り組みをしている。

介護保険

問 介護保険事業計画と高齢者保健福祉計画を一体の計画として策定したとあるが、委託料の予算執行は。

長寿介護課長 委託料は、介護保険事業計画分としての委託料であり、高齢者保健福祉計画分は別途、一般会計で執行されている。



26年度 決算質疑

建設文教委員会

一般会計

最終処分場



問 埋立ごみ搬入量が、25年度に比べ約50t減少しているが、その要因は、**くらし環境課長** 埋立ごみ搬入量は、粗大ごみを含まない埋立ごみの搬入量で、他の排出源と併せ、主に一般家庭からの排出量が減少している。これは、排出者である一般家庭での分別が進んできていると考えられる。

ながいずみ鍋事業

問 事業に絡め「桃沢まつり」と称した催しで、北部地域活性化の成果は、**産業振興課長** 観光交流協会による「桃沢ジオツアー」「四ツ溝柿狩り体験」や、健康増進課による「秋の味覚ウォーク」、工芸村での「陶芸体験」を同日に開催し、集客をはかった。天候の影響で中止した催しもあったが、参加者は自然豊かな桃沢エリアの素晴らしさを再確認でき、継続的な地域の活性化につながった。

プロモーション映像

問 制作の目的とその成果は、**産業振興課長** 町や町の魅力を全国に向けて発信するため動画を作成し、タウンセールスにつなげるものである。まだ具体的な成果を示す数値はないが、この取り組みにより長泉町を知り、関心を抱く効果を期待している。



桃沢まつり

地籍調査

問 地籍調査の実施箇所は、また、町全体の進捗率は、**建設計画課長** 竹原地区と東野地区の2地区を実施した。また、町全体の進捗率は、調査対象面積21・25km²に対して、11・27km²が調査済みであり、53・03%である。

中土狩第二広場

問 土地取得面積および買収単価は、**建設計画課長** 取得面積は1千324・52m²。このうち、宅地部が1千264・01m²、買収単価は1m²あたり9万1千400円。道路部は60・51m²、買収単価は1m²あたり2万7千円で、土地単価は、不動産鑑定評価に基づき決定。



整備された元長窪広場

元長窪広場整備

問 工事の整備内容は、**工事管理課長** 整備面積は2千330m²、園内はグラウンド部にクレイ舗装795m²、遊戯施設工として遊具3基、外構としてフェンス11m、ガードパイプ37mの施工を行った。



奇跡の自治体。静岡縣長泉町

奇跡の自治体 長泉町 検索

小学校理科支援員

問 支援員の配置による効果は。

こども育成課長 支援員は、各校に1名配置している。学校からは、きめ細やかな指導がしやすいと好評を得ている。また、理科離れが問題となる中、27年4月に実施した全国学力学習状況調査と併せて実施した児童生徒質問紙による調査でも「理科が好き」と答えた割合が小中学校9年間で高まっている。

フアシリティ・マネジメント事業

問 小中学校の事業の状況は。

こども育成課長 事業は、計画どおり進んでいる。工事の内訳は、左記のとおり。

学校名	工事名
長泉小学校	校舎外壁改修工事 体育館改修工事
南小学校	体育館・中央昇降口 サッシ改修工事
北小学校	体育館改修工事
長泉中学校	校舎・体育館改修工事

文化センター

問 指定管理者制度導入の成果をどう捉えているか。

生涯学習課長 運営状況は、指定管理者の月例、四半期ごとの定期報告、年度末の事業報告に基づき、文化センター運営審議会でのモニタリングなどを実施し、自主事業の実施状況など、運営面で着実な改善やサービスの向上などが確認できた。導入2年目の評価は、良好な運営状況であったと判断している。

給食センター

問 物価の上昇や消費税増税などにより、給食材料費も高騰しているが、質の低下はないか。

学校給食センター所長 給食材料の選定にあたっては、事前の見積りとサンプル調査を実施し、価格面と併せて給食食材としての適正を判断して選定しており、安全性や質の低下はない。

学校図書館

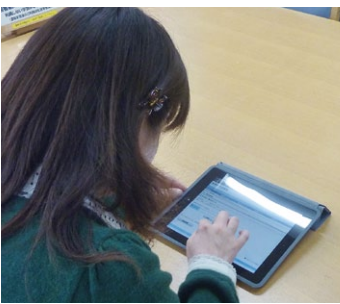
問 学校図書館の1日平均貸し出し冊数かなり伸びている学校があるが、その要因は。

こども育成課長 北小学校と北中学校に、毎年、篤志家から図書の寄贈があり、新しい図書を図書室の新しいコーナーに設置することで、子どもたちの図書に対する関心の高まりが貸し出し冊数の増につながっているのではないかと推察される。

図書館

問 タブレット端末導入後の利用状況は。

生涯学習課長 26年7月から運用開始し、延べ127件の利用があった。



特別会計

下水道事業

問 接続率は、何%か。

上下水道課長 26年度末時点の処理区域内人口に対し92・1%である。

問 町債の現在高、償還額の今後の見込みは。

課長 町債の26年度末現在高は約34億9千500万円で、昨年度の約37億1千万円に比べ約2億1千500万円の減で、今後も減少し、利子を含めた償還額のピークは、30年度ごろになる見込み。

水道事業

問 長泉第2浄水場防災倉庫等築造工事の整備内容は。

上下水道課長 鉄骨平屋造107・92㎡の防災倉庫の築造、場内舗装などを行った。



第2浄水場防災倉庫（納米里）

問 損益計算書の長期前受金戻入額の内容は。

課長 地方公営企業法改正に伴い計上された営業外収益である。償却資産の財源として受け入れた工事負担金などを、負債勘定の長期前受金に計上し、減価償却相当分を収益化したものである。

全会一致で可決

27年度補正予算

補正予算の、主な委員会質疑の内容を紹介します。

会 計	補 正 額
一般会計	6億 5,227 万円増
国民健康保険事業	1億 2,915 万円増
後期高齢者医療	469 万円増
介護保険事業	1億 1,976 万円増
下水道事業	680 万円増

総務民生委員会

国際交流基金積立

2千452万円

問 ワンガヌイ市交流センター売却で得た収入を国際交流基金に積み立てた理由は。
行政課長 今後も国際交流事業をより積極的、かつ継続的に進めていくための財源を確保するためである。

土地取得費

7千421万円

問 諸支出金による土地取得の内容は。
企画財政課長 中土狩地内の旧温水プール跡地官民連携複合施設整備事業予定地634・31㎡である。



消防救急広域化整備

107万円

問 三島市、裾野市及び長泉町消防広域化推進協議会負担金の事業内訳と長泉町の負担割合は。
消防長 消防の広域化を見据え、3市町の消防関係例規を統合整備するための業務委託と職員の人事給与などの電算システム導入のための業務委託である。負担割合は、均等割30%、人口割70%である。



建設文教委員会

地球温暖化対策事業

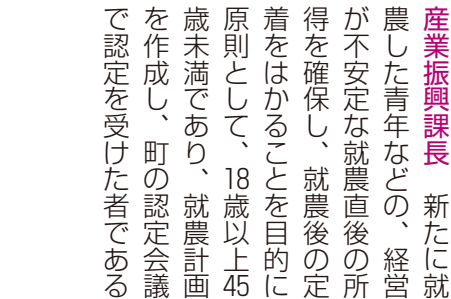
270万円

問 事業の内容は。
くらし環境課長 町全体における温室効果ガス排出対策の計画的な推進をはかる必要があり、長泉町地球温暖化対策実行計画区域施策編を策定するための調査を行う。

青年就農給付金

150万円

問 給付目的と認定基準は。
産業振興課長 新たに就農した青年などの、経営が不安定な就農直後の所得を確保し、就農後の定着をはかることを目的に、原則として、18歳以上45歳未満であり、就農計画を作成し、町の認定会議で認定を受けた者である。



代表生徒派遣事業

100万円

問 昨年度も予算を補正しているが、予算不足が生徒や保護者の負担につながっていないか。
こども育成課長 近年の目覚ましい活躍を考慮して予算を増額したが、昨年度をさらに上回る活躍の結果、予算不足が見込まれるため、増額補正する。保護者の負担にならないよう、補助金申請書の早期提出を促し、早期支出に努める。



生活道路等整備費

920万円

問 町道679号線測量設計等業務委託料の内容は。
建設計画課長 25年度に開発可能性調査を実施した市街化調整区域の土地で、新たな企業進出をはかる目的で、道路改良に必要な測量設計や分筆作業などを行う。



躍進する部活動

条例などの制定・一部改正

長泉町個人番号の
利用及び特定個人情報
の提供に関する条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行により、マイナンバー制度が導入されることに伴い、制定するもの。

長泉町事務手数料条例の一部を改正する条例

マイナンバー制度の導入に伴い、町が交付する通知カードの再交付手数料を500円とし、個人番号カードの再交付手数料を800円とするため、条例の一部を改正するもの。

長泉町個人情報保護条例の一部を改正する条例

マイナンバー制度の導入に伴い、町が保有する特定個人情報の収集、利用など厳格な取り扱いを確保するために、条例の一部を改正するもの。

長泉町定年退職者等の再任用に関する条例の一部を改正する条例

被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、条例内で引用する法律名などを改正するため、条例の一部を改正するもの。

長泉町議会会議規則の一部を改正する規則

近年の社会事情をかんがみ、男女共同参画を考慮した議会活動を促進するため、出席に伴う議会の欠席規定を新たに設けるため、規則の一部を改正するもの。

全会一致で可決

陳情・意見書の提出

重度障害者（児）医療費助成制度の精神障害者への適用改善について県知事宛意見書提出を求める陳情

：採択

「集団的自衛権に絡む安全保障関連法案に対するその廃案を要請する意見書」の提出を求める陳情書

：不採択

重度障害者（児）医療費助成制度における精神障害者への適用改善に関する意見書

可決し、県知事宛に意見書を提出

安全保障政策について国民の理解を得るため継続的に丁寧な説明を求める意見書

可決し、衆議院議長・参議院議長・総理大臣宛に意見書を提出

コミュニティ施設整備事業に対する補助金交付運営の見直しを求める陳情書

：不採択

人事

監査委員の再任



宇津木茂之氏
(新屋町上区)

監査委員（議会選任）



四方義男氏
(竹原区)

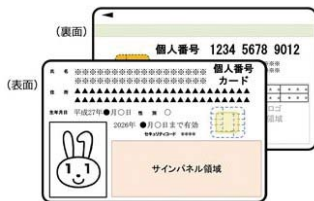
教育委員の任命



尾崎和美氏
(新屋町下区)

問 情報漏えいに対するセキュリティ対策は。また、情報を取り扱う職員への利用制限の対応策は。

企画財政課長 住民情報系の基幹システムと外部につながるインターネットは物理的に分離されているため、漏えいはないと考える。また、住民記録などを取り扱う職員を限定し、厳格に管理するIDを付与し、全て操作履歴が残る機能となっている。



ズバリ!

町政を問う

◆9人が一般質問◆

1 下山 哲夫 議員

1. 6次産業化への取り組みに向けて

2 大沼 正明 議員

1. 平成 27 年度長泉町総合防災訓練などを伺う
2. 障がいを持つ子どもや保護者のために、ぷれジョブ事業の研究を

3 小永井 康一 議員

1. 地域コミュニティ強化につながる定住施策の推進を
2. 災害ボランティアとの連携強化を
3. 子育て支援のさらなる充実を

4 山田 勝 議員

1. 子育て支援のさらなる推進を
2. 指定管理者の活用と評価は
3. マイナンバーの対応は

5 宮口 嘉隆 議員

1. 火葬場、町の声は町内
2. 町の安全・安心（空き家、防犯カメラ、子育て）
3. 町民の声（精霊送り、わくわく、ハロウィン）

6 栗原 睦明 議員

1. 子どものための支援を
2. チーム学校のさらなる充実を
3. 悪化する環境問題の改善を
4. 健康のための新たな取り組みを

7 植松 英樹 議員

1. 子どもと向き合う時間の確保に向けた取り組みを

8 杉森 賢二 議員

1. 町の基本計画、総合戦略実現に向けて
2. ペーパーレス行政実現に向けて

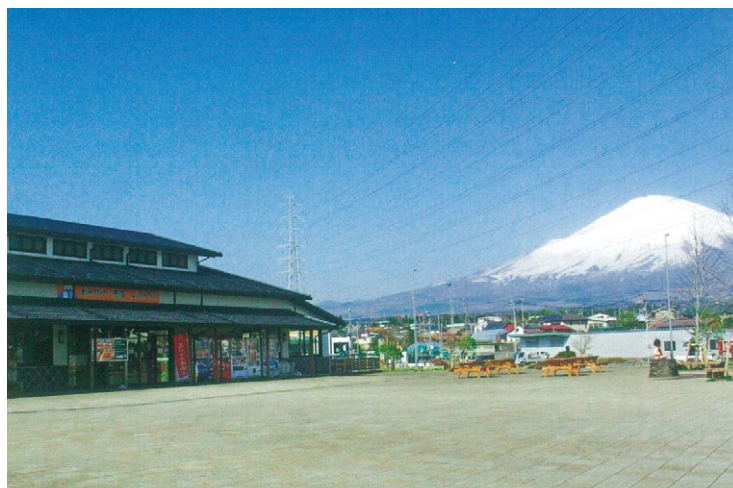
9 四方 義男 議員

1. 住民参画のまちづくり
2. 認知症対策の新たな取り組み

一般質問とは…議員が町長などの執行機関に対して、事務の執行状況や将来に対する方針など諸問題について、報告や説明を求めたり質問することをいいます。



下山 哲夫 議員



にぎわいある道の駅

Q

新たな農業への取り組みに向けて

A

長いスパンで粘り強い取り組みが必要

農業の現状は

問 生産者の維持・継承に対する認識は。

都市環境部長 日本の農業は、高齢化・後継者不足・田畑の減少など、さまざまな問題を抱えており、本町も同様の状況である。このような中、農業の競争力を高めていく事が必要であり、国などの施策と連携し、やる気のある農業者に支援や経営の基盤強化対策を進めている。

特産品維持

問 特産品維持に対する町の見解は。

部長 T P P が妥結され関税や非関税障壁が撤廃されれば、町の特産と言われる農畜産物も価格競争

争など、さまざまな影響を受けるが、本町の施策として、消費者の求める安全・安心な農畜産物を提供することに加え、高付加価値農業への転換やブランド化への支援をしていく。

新たな農業へ

問 農業の活性化をはかる手段として、6次産業化をどのように捉えているか。

部長 第1次産業に携わる農業者が、第2次産業の加工や、第3次産業の流通にも関わる6次産業化が大きな流れになっている。目的は、農業の経営を多角化し収益率を高めることで、具体的には、農畜産物の「加工・直売」や「農家レストラン」の経営などである。

問 6次産業化に対する相談事例などは。

産業振興課長 具体的プランに基づく相談は1件あるが、課題も多く、実現には至っていない。具体的なプランまでいかない段階での相談は数件受けている。

問 県農林事務所と連携しての6次産業化P Rの考えは。

課長 中核農業者協議会の総会や研修会で、農林事務所担当者を講師に招き、6次産業化に関する事例紹介などを行ってきた。今後も引き続き、P Rにつながる取り組みを行っていく。

施設整備を

問 施設整備を将来的に事例が出てきた場合、検討をお願いしたいが。

部長 6次産業化の具体的計画がない中で施設の整備だけを先行して実施することはない。今後、関係者の熱意や工夫により具体的な計画が出てきた場合には、国・県などと連携し、施設整備を含めた後押しをしっかりと行っていく。



北小学校のトリアージ訓練



大沼 正明 議員

Q

突発型地震訓練の成果は

A

悪天候の中でも、5割近くの世帯が参加

訓練計画の内容は

問 予知型訓練から、今年度突発型訓練に変更した理由は。

地域防災課長 19年度から予知型訓練を実施してきたが、県第4次地震被害想定を踏まえ今年度は、違う視点で突発型地震訓練を実施した。

問 自主防災会の世帯台帳整備状況は。

課長 自主防災会40区内、全体の7割にあたる28区が整備済みであり、現在、新たに4区が整備を進めている。

問 安否確認訓練の報告に基づく訓練参加率は。

課長 降雨のため、例年と比べ低い参加状況で、8千542世帯、48・3%の参加率であった。

問 外国人向けの町の観光マップに広域避難所などの防災情報の記載はあるか。

課長 ながいずみガイドマップには記載がない。電柱への巻き看板、道路上の案内看板、郵便ポストに表示し周知している。

問 安否確認訓練で、町登録災害時要配慮者の個別報告を受けているのか。

課長 町本部は、町全体での町民の安否確認状況の把握がまずは重要と考えている。各区自主防災会には区民全体の報告を求めている。町登録災害時要配慮者の個別の安否確認報告は求めている。

自治会未加入者の防災対応

問 自治会に属さない住民の世帯数は。

行政課長 4月1日現在で自治会に属している世帯数は1万5千316世帯、未加入世帯数は1千669世帯で全体の9.8%である。

問 自治会加入への啓発状況は。

課長 集合住宅の建設や宅地分譲などで土地利用指導を行う際に、事業者に対し、自治会加入の周知を指導している。

問 未加入世帯要配慮者の災害時の対応は。

福祉保険課長 支援方法は例年課題に挙げられており、民生委員協議会において、支援方法を検討中である。

問 町内の広域避難所スペースは、自治会に割り当てられているが、自治会未加入世帯の対応は。

地域防災課長 帰宅困難者に準じる対応となるが、避難所運営には避難者同士の助け合いが大切なため、自治会加入を継続して啓発していく。

問 簡易登録デジタル無線機を自主防災会と消防団が共用することになったが、電波法に則した運用を。

課長 混信しないようにチャンネルを配分し、通信方法など運用規定を策定し、有効活用できる体制をつくる。

その他の質問 ぱれじョブ事業の研究を



小永井 康一 議員

年度	3月末人口(※)	人口増減	転入者数(人)	転出者数(人)
22	40,858	552	2,650	2,299
23	41,141	283	2,532	2,507
24	41,568	427	2,532	2,369
25	41,781	213	2,561	2,499
26	41,938	157	2,405	2,407

※翌年度 4月1日付発表の人口

直近5年間の転入と転出

Q コミュニティ強化を考えた定住施策を

A 地方創生の中で検討された取り組みを示す

人口増加の現状と課題

問 昨年は転出が転入を上回った。町の見解は。

住民福祉部長 転出入のここ数年の動向を見ると、将来的には増加傾向と考

問 人口増に伴う課題は。

総務部長 待機児童の増加、保育施設の不足といった喫緊の課題に加え、多様な価値観を持つ方が増え、各地域コミュニティ活動の希薄化も課題と考

定住施策は

問 町内の土地物件が高騰したために、一戸建て住居を町外に求める子育て世代がいる。空き家対策と定住施策を組み合わせる試みは。

建設計画課長 空き家対策は喫緊の課題ではなく、定住施策と一体化して取り組むことは、今のところ考

問 三世代同居にリフォーム補助金を。

総務部長 三世代同居は地方創生の中で子育てや高齢となった親の介護の面でも期待されており、今後「まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」で検討された具体的な取り組みを改めて示す。

Q 災害ボランティアとの連携強化を

A 多くの方に協力していただきたいと願う

災害ボランティア

問 町の認識は。

福祉保険課長 災害時に果たす役割は重要であり必要不可欠なものである。

問 町の防災会議への参画状況は。

地域防災課長 災害ボランティアは、委員として

任命していないが、町災害ボランティア本部構成団体である町社会福祉協議会事務局長を委員に任命している。

問 災害ボランティアやそのグループへの補助金は。

住民福祉部長 活動費は社会福祉協議会の予算でまかなわれている。

問 高齢化など町内の災害ボランティアが人材不足だ。ボランティア増の取り組みを。

部長 ボランティア保険加入者や災害ボランティア研修会参加者に声かけをしている。町民のボランティアへの関心は低くないと考えており、ボランティア養成講座を始め、情報提供や学習・研修の

内容の充実をはかることで一人でも多くの方々に協力していただきたいと願っている。

その他の質問
子育て新施設の充実を



事業評価が良好な文化センター



山田 勝 議員

Q 子育て支援のさらなる推進を

A 包括的な支援を進めていきたい

地方人口ビジョン

2060年には4万3千人程度の維持を、将来ビジョンとして掲げている。点で総合戦略に向けた具

子育て支援センター

問 子育て世代包括支援センターへの取り組みは

総務部長 保健師、ソーシャルワーカーなどを常

不育症治療の助成

問 前回の質問から、4年が経過し情勢の変化は

町長 出生率を高めるために必要な施策の一つと捉え、28年度から不育症治療への助成をしていく。

支援を進めて行く。

子育て支援

問 基本的な方向性、取り組みは。

総務部長 オール長泉の

取り組みで、2020年までに、合計特殊出生率を2・07に上昇させることなどにより、人口4万3千500人程度とする。

問 今後の子育て支援の町の基本方針は。

副町長 子どもの出産から就職までの切れ目ない支援ができるかという視

Q 指定管理者の活用と評価は

A 協定書を遵守し、総合的に評価を実施

指定管理者の実施状況

問 管理委託と指定管理者との違いは。

企画財政課長 管理委託

は、委託を受けた管理受託者が、契約に基づき、具体的な事務や業務の執行を行うものである。公の施設の管理権限および

問 リスク分担表は、どのようになっているのか。

課長 町あるいは指定管理者のいずれかが全てを負担するものと、両者の協議によるものとし、リスクごとに分担を決定している。

問 指定管理者の評価は。

課長 管理業務の実施状況、施設利用状況、利用料収入の実績、管理業務に係る収支の状況などをもとに、町と指定管理者との間での協定や仕様書などを遵守して、適正に施設の管理・運営を行っているかなど、総合的に評価を実施している。



宮口 嘉隆 議員



下土狩駅前の防犯カメラ

Q 火葬場の裾野市共同整備までの決断理由は

A 最後のお別れの場に適した施設整備が可能

裾野市と共同整備

問 決断するまでの経緯と決断理由は。

町長 最も重視したのは、火葬場整備に住民が望んでいる要素などを考えた際に、「最後のお別れの場」としてふさわしい施設整備がどちらなら可能

かという点であった。裾野市とは、敷地面積の確保、将来人口や火葬件数の予測から必要とされる火葬炉数の設置、駐車場の確保も可能であるとの共通認識で合意に至った。

影響を与えるものでないと認識している。

問 現地建て替え案は、状況変化の影響は。

町長 現状では、10月開催予定の区長連絡協議会にて区長に説明し、その後町広報などを通じて周知し、理解を得たい。

町長 現地への建て替えは、現実的ではないと判断したものであり、その周辺の状況変化は、今回の整備手法の選択結果に

問 可能性調査の内容とスケジュールは。

都市環境部長 施設のレ

Q 防犯カメラ増設で町の安全・安心を

A 町全域犯罪抑止に向け重点的に整備を進める

問 防犯カメラの設置数、犯罪、不審者の状況は。

地域防災課長 施設以外には17台設置。刑法犯認知件数は、26年203件、27年7月末現在114件で、内容は侵入盗・乗り物盗・車上狙いなどである。

問 設置効果への見解は。

課長 27年3月下土狩駅に設置した防犯カメラの設置効果例として、下土狩駅周辺で26年中4件の不審者事案があったが、27年7月末現在では事案の報告がなく、犯罪抑止には有効な手段である。

問 設置の拡大を。

総務部長 防犯カメラは、防犯体制の整備充実に必要不可欠な時代である。まずは、設置されていない幼稚園、保育園、小・中学校、その他公共施設などへの設置を中心に、既存の更新も含め、設置

目標台数や期間を定め整備を進める。

その他の質問

町民の声（精霊送り、わくわく、ハロウィン）



自然のすばらしさ…ここに



栗原 睦明 議員

Q

新たな健康企画の推進を

A

健康のための企画・整備を推進する

時代に合ったスポーツ推進を

問 ノルディックウォーキングの推進を。

健康増進課長 ポールを

持って歩くこの運動は、効果的にバランスの取れた全身運動となるため、今後、より多くの町民の方々に周知し推進する。

問 公園などに健康器具の設置予定は。

課長 健康器具を設置した公園も徐々に整備を進めているが、今後も子ども達への安全確保に配慮して健康器具や、膝や腰への負担を軽減するゴムチップ舗装によるウォーキングコースなどの整備を調査・検討していく。

問 梅の木沢川上流部に遊歩道の整備を。

住民福祉部長 この川の上流部は、多くの湧水群や樹齢の長い樹木など、緑豊かな自然環境に恵まれた大切な資源であり、自然環境の中、マイナスイオンを浴びながら散歩することは、体や心の健康にも有益である。その

自然の良さを広く町民の方々に知ってもらうことは、町や地域の活性化にもつながる。そのため、遊歩道整備は、都市環境部門と連携し検討する。

その他の質問

・待機児童対策
・チーム学校の推進

Q

悪化する環境問題への取り組みは

A

監督官庁の県に指導の徹底を要請する

新たな問題の発生

問 地域の苦情は。

くらし環境課長 27年度12件の電話があり、いずれも同一場所であり、8件の連絡があった。現地確認をしたがひどい悪臭であった。

問 問題の事業所の状況把握と指導状況は。

課長 長泉工業団地・長泉一色工業団地・富士長

泉工業団地の内、数社の食品系の事業所が原因と思われる。そこで、県と水質汚濁防止法・公害防止協定などにより検査を行い、指導を行った。

問 地域活動(梅ノ木沢川を守る会)に対しての行政の支援策は。

課長 8月に町と南一色

区の会で「水生生物観察会」を実施した。また、問題の排水口付近の雑木の伐採、草刈りを実施し地元と行政が一緒に水質改善のため取り組む。

問 大気汚染における町で把握している状況は。

課長 裾野市や南一色、長泉工業団地内から苦情があり、煙や悪臭の方向からすべて同一事業所と考えられる。内容は、悪臭と黒い灰が飛散していた。発生原因と思われる事業所の調査を行った。



植松 英樹 議員



誰もが行きたい学校づくりを

Q

教育環境のさらなる充実を

A

多忙化解消、学校支援地域本部の取り組みを進める

多忙化の認識

問 教員の多忙化をどのように認識しているか。

教育長 実態として授業のための教材研究、定期テストや成績処理などに伴う作業、保護者や児童生徒からの相談など仕事が多忙化している現状があり、多忙であると認識している。

多忙化の要因

問 ①事務仕事が多い②持ち時間が多い③各種調査が多い④部活動などが主な要因として挙げられるが、それぞれの実態は、**教育長** 事務仕事として、校納金の集金や滞納している家庭への電話連絡など、持ち時数は学級数と

教員数の関係で決定され、学校によっては教員の加配を受ける場合もある。各種調査は不登校やいじめアンケートの集計など、部活動は主に放課後の時間を利用し、冬季以外は勤務時間外の活動も多くある。

多忙化の解消

問 取り組み状況は。

教育長 現在長泉小は学校事務職員が複数配置となっているが、大規模校である町内学校の事務処理は膨大な量となっている現実を捉え、他の学校も県教委に複数配置を要請している。出席簿の電子化は28年度から導入を予定している。各種行事、大会参加などの精選は、学校評価を受け次年度の教育課程編成に生かして

いくよう各校へ指導していく。地域スポーツ指導者・団体との連携は、今後も地域の方の力を借りて、連携をはかっていく。

いじめ解決過程の評価を

問 いじめは存在するという前提で、その解決過程を評価する仕組みを構築・共有すべきと考えるが。

教育長 学校には「いじめ防止対策委員会」があり、この組織を中心に学校の行った対応を検証している。また、いじめは解決過程が非常に重要であり、各学校とも熱意を持って取り組んでいる。いじめの認知件数を問題にするのではなく、「よく発見してくれた」という認識で解決策に向けて対応していく。

子どもと向き合う時間の確保

問 機能する運用体制は。

教育長 教員が子どもと向き合う時間を持つことは、子どもを理解する上で最も大切なことである。学校支援地域本部のコーディネーターを中心に、地域の方々と学校教育に協力頂いている。今後、地域とともにある学校づくりを推進していく。



タブレットを活用した行政サービス



杉森 賢二 議員

Q 女性が活躍するための環境整備は

A 関係部署と連携し応援していきたい

女性活躍のステージ

問 町のPR、教育など新たなステージを設けることは。

都市環境部長 タウンセー
ルスの一環として「長
泉ママラッチ」事業を始
めた。現状ボランティア
活動だが、将来的には自

主活動団体へ持ってい
きたい。内職は引き続きハ
ローワークや商工会と連
携し情報共有して対応す
る。また、中小企業新製
品等開発事業補助金を活
用し県の経営革新計画の
承認を得た女性起業家に
対し支援を行うなど意欲
的な取り組みに対して応
援していく。

問 桃沢施設整備など、
町施設の女性登用、参画
の考えは。

健康増進課長 女性の視
点を取り入れた管理や運
営、イベントの企画など、
これまで以上に積極的に
取り組んでいきたい。

職場環境の整備を

問 女性が活躍するた
めの環境整備は。

総務部長 保育園や放課
後児童会のさらなる整備
充実、町内企業への仕事
と子育ての両立支援、環
境整備に積極的に取り組
むよう働きかける。

Q ペーパーレス行政実現に向けて町の考えは

A ICTを活用した電子行政推進をはかっていく

ICTの推進を

問 タブレット活用事例
の認識と町の状況は。

企画財政課長 焼津市が
全職員にタブレット端末
を導入し、職員会議や市
民への行政サービスの説
明用として活用している。
逗子市議会もタブレット

議会を開始し、議案や各
種資料などを全て電子
データ化し、議会運営を
行っている。当町は、健
康増進課が一般家庭など
への訪問時に資料や動画
を活用し、行政課では広
報事務の取材用として活
用している。

問 今後のペーパーレ
ス化に活用するデータや内
容のイメージは。

課長 住民向けのパンフ
レットなどのデータ化、
道路台帳や都市計画図な
どの業者向けのオープン
データをはかる。タブ
レット型パソコンなどを
活用し、住民への周知、
説明などの充実をはかる。

問 研修、議会運用のた
めの計画及び組織は。

総務部長 まずは庁議の
資料から取り組み、議会
の検討を踏まえ、議会資
料の電子化も考えたい。
今後は、推進体制を充実
し、ICTを活用した電
子行政の推進をはかる。



四方 義男 議員



ゾーン 30 に選定された北中周辺道路

Q

雇用や産業など新しい価値観に基づく地域経済を

A

住民と行政の協力関係が大切

みんなで参画のまちづくりを

問 選挙の投票率低下の状況や住民意識調査の分析から住民意識の変容をどう把握しているか。
総務部長 町民のまじぶくりの意識は低下傾向にあることは否めない。小学校区ごとで開催した懇

談会でも大きな課題となっており、意識調査でも自治体活動への参加率の改善は見られない。まちづくりの第一歩は住民と行政の信頼関係を築くことが大切。行政は積極的に地区へ出向き住民の声を聴き、まちづくりへの関心を高めたい。

問 町の新たな価値観による地域づくりは。

部長 ファルマバレー関連や内陸フロンティアの産業集積といった、新たな価値観によるまちづくりをさらに推進していくことが重要である。

※ゾーン30設置を

問 南部地区にも設置を。
地域防災課長 北中周辺が県公安委員会の今年度事業として設置予定であり、この効果を踏まえ南部地区への要望を検討する。

Q

認知症に新たな取り組みを

A

認知症予防教室で独自の検査を実施

軽度認知症の血液検査の導入は

問 血液で軽度認知症を判定する方式が開発されたが、町の認識は。

住民福祉部長 県内でも一部の医療機関で軽度認知症(mci)を判定するmciスクリーニングを実施しているが、受け入れ態勢

や、その後の治療の在り方などさらに整備をする必要がある。

問 この検査法を特定定期検診への導入は。

部長 特定健診の項目は2市2町で統一されたもので現段階では追加することは考えていない。現在タッチパネルで認知症

の疑いをチェックするプログラムを用い実施している。さらに今年度独自の対面式検査を試行し検証する予定である。

問 認知症の予防対策として「芸術鑑賞法」がある。実証的研究を進めたいかどうか。

長寿介護課長 町内の施設では、本や写真を用いた回想法・音楽療法・動画を使った対話法など重症化を防ぐ取り組みを行っている。「対話型芸術鑑賞法」も、手法の一つとして勉強していきたいと考える。

※ゾーン30…自動車事故抑止のため、生活道路が密集する区域を時速30キロに制限する交通規制。

追跡

あの質問はどうなった？

定例会で議員が出した一般質問は、まちづくりにどう生かされているのでしょうか。その後を追います。

質問

同報無線で流す情報をホームページに掲載する考えは。

答弁

緊急性の高い情報はホームページに掲載することを今後検討する。

そして

26年6月からホームページに緊急性の高い情報の掲載を始めた。



こちらに掲載します

質問

ワンガヌイ市交流センターの取り扱い。

答弁

同センターは姉妹都市交流において大きな役割を果たしてきたが、インターネットの普及により、その役割が変化してきたため、費用対効果の面から有効でないと判断した場合は売却もありうる。

そして

27年8月に売却手続きが完了した。

長年、お疲れ様でした。



期待しています

私の要望・意見

子育ての町の割には、公園の設備が乏しい町だと感じています。ぜひ議会ながいずみで特集してください。(40代 男性)

長泉町は持ち家率が低いと聞いたことがありますが、具体的な対策は何か行われていますか。(60代 男性)

「議会」という単語を聞くだけで難しそうと思いますが、敬遠してしまいますが、「議会ながいずみ」は、一般人にも分かりやすいように工夫されていて内容を理解する気になります。特に、重要な内容は題名後にトピックスの詳細が記載されているので、大変わかりやすいです。Q & Aも要約が最初に記載されているので、読みやすいです。ページがもう少し多くなってほしいので、字がもう少し大きくなる、より読みやすくなると思います。

(30代 女性)

長泉町に引越してきた唯一残念だなと思っていたのが、飲食店の少なさです。旧温水プール跡地に飲食店が出来たら、町の活性化につながると思うので期待しています。(30代 女性)

視察報告において長泉町がどこまで他市町の先進的な活動を取り入れられるのか少し疑問だった。見学した、学んだことを取り入れたり実践して頂きたい。小水力発電など、普及に向けた話し合いが進んでいることは、とても良いことである。町民の利益につながるのであれば、ぜひ進めて欲しいと思う。(20代 男性)

再生可能エネルギーをどんどん進めて欲しいです。蛇口発電装置は、はじめて知りました。長泉町は水と緑の町ですから、もっとどんどん再生可能エネルギーを進めて欲しいです。(20代 女性)

コミュニティながいずみ北側エントランスの記事を読みました。ぜひ町の玄關らしいステキな場所にして欲しいです。(40代 女性)

表紙の子どもたちの写真がとてもかわいらしく、季節が感じられていいです。(30代 男性)

会議録もご覧下さい!

議会ながいずみでは、紙面の都合により内容を要約してあります。質疑・答弁の詳細は会議録に詳しく掲載されていますので、ぜひご覧ください。会議録は町民

図書館・役場行政課・議会事務局にあります。また、町のホームページでもご覧いただけます。

◀会議録検索システムトップ画面



11月定例会は
11月30日(月)に
開会予定です。

インターネットで定例会をご覧ください

定例会の様子がインターネットで視聴できます。定例会の開催時間帯には、生中継で配信しています。終了後は、開催日の約5日後から録画されたものを視聴できます。



▲議会インターネット中継画面



◆どちらから長泉町に転入されましたか。
沼津市

◆転入先に長泉町を選んだ理由は。
妻の実家があることと、高速道路へのアクセスの良さ。子育て支援制度が良い。子どもの医療費無料は本当に助かります。

◆今までの街と長泉町を比べて印象は。
町民の健康増進に力を入れている。

◆町内のお気に入りの場所は。
ウエルピアながいずみ。ダイエット中なので、ランニングをしたり、ジムも利用しています。

◆町に望むことは。
駅周辺の活性化。

◆どちらから長泉町に転入されましたか。
愛知県

◆転入先に長泉町を選んだ理由は。
主人の通勤の利便性や環境の良さでこちらを選びました。

◆今までの街と長泉町を比べて印象は。
健康やスポーツに対する取り組みが積極的と感じます。

◆町内のお気に入りの場所は。
駿河平自然公園

◆町に望むことは。
ドッグランができたとしても嬉しいです。

(30代 男性)

(40代 女性)

ご意見ありがとうございました。

わが町 たんけんクイズ

ここはどこ
でしょう？

Vol.114



「〇ゆつぽの滝」

ヒント：黄瀬川の高さ9mの滝

町内のジオポイントを出題します。○の中に入る言葉をお答えください。正解者の中から抽選で10人の方に図書カードを贈呈します。

応募方法

●はがきにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、議会ながいずみの感想を書いてお送りください（お寄せいただいたご意見は紙面で紹介させていただきます。場合があります）。

※メ切は11月30日（月）消印有効です。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

●宛先

〒411-8668
長泉町中土狩 828 番地
長泉町議会
広報広聴委員会

前回の正解は

「水」でした。

（応募総数20通）

編集後記

委員の改選が行われ、新メンバーの広報広聴委員会がスタートしました。より分かりやすく読みやすい議会だよりを目指して編集してまいります。

（栗原）



●発行責任者

議長 柏木 豊

●広報広聴委員会

委員長 栗原 睦明
副委員長 杉森 賢二
委員 山田 勝
植松 英樹
藤村 郁人
下山 哲夫
大沼 正明
小永井 康一